

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	鳥栖市立旭小学校		
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携による学力向上推進地域指定事業で発表の年である。特別活動・日本語・外国語活動を柱にして、実践を積み重ねていきたい。効果を検証しつつ教育活動の質の向上を図り、地域と連携し学習効果の最大化を目指す。</li> <li>・特別支援学級は2学級増となる。支援が必要な子ども一人一人のニーズに応じた教育を行うため、特別支援教育の更なる充実を図る。</li> <li>・働き方改革は、職員一人一人の意識向上と業務のやり方の工夫を進めたい。</li> <li>・次年度からコミュニティスクールを取り入れる。学校行事の精選と地域連携による再編により、地域や社会に貢献できる学校を目指す。</li> </ul>		
2 学校教育目標	「思いやりのある子」「よろこんで学ぶ子」「たくましい子」を具体的な目標に掲げ、「旭を愛し、やさしく・かしこく・たくましく生きる児童の育成」を目指す。		
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小中連携による学力向上推進地域指定事業で特別活動・日本語・外国語活動を柱にして、「学びがつながる」授業の創造を目指す。</li> <li>②特別支援教育の充実を図る。</li> <li>③学力の向上を図る。</li> <li>④地域社会との連携・協働を推進する。</li> </ul>		

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートにマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・校内研修等でマイプランの内容を共有しながら、取組の促進を図る。							横尾 弘樹 (指導教諭・学力向上)
	○算数科を中心に「学び合い」の時間を確保し、自分の伝えたいことを伝えたり、相手の考えを聞いたりしながら、学ぶ喜びを実感できるように取り組ませる。	○算数科において「自分の考えをもとに学び合いを行ったが」「算数は楽しいか」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を75%以上。	・学び合いにおいて自分の考えをわかりやすく伝えようとするなど視点を明確化したり、考えがより伝わりやすいノートの工夫をしたりするなどの手立てをとる。 ・自学ノードについては、意欲喚起のために規範となるノートを掲示したり、学年学級通信等に掲載し内容や質の向上に努める。							堀内 加代 (学力向上・算数主任)
	○個人及び全校の読書のめあて(読書量、ジャンル等)を設定し読書生活を豊かにする。	○個人及び全校の読書のめあてを達成できた児童の割合70%以上	・個人による読書のめあてと、共通の学期毎のめあてを立て、年間「1100冊」を設定する。 ・学年に合ったおすすめの本の紹介や図書館祭りなどに組み込み、本への興味を高める。 ・授業での図書室利用が増えるよう、図書の1時間を2コマに分ける。							杉本 加奈 (図書館教育)
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校アンケートで「友達に優しくしたり、仲良くしたりできる。」の児童評価85%以上。	・全学級で週に1度必ず道徳科の授業をする。 ・全学級で年間1回以上保護者の方に道徳科の授業を公開する。(ふれあい道徳) ・人権意識を高めるための取り組みとして、旭っ子人権集会を11月に実施する。							大財 千穂 (道徳教育推進教師) 毛利 裕美 (こころ部部長)
	●いじめの未然防止、早期発見、早期対応体制の充実	○「いじめ・いのちを考える日」に合わせたアンケートで、肯定的な回答をする児童80%以上	・発達段階に応じた人権感覚の育成をめざし、毎月の「心のめあて」を通して具体的な実践を図る。 ・「なかよしアンケート」や児童の観察を通して、実態を把握しいじめなどに対して、迅速に組織的に対応する。							鶴田 喜幸(生活指導担当)
	◎個が生きる学級集団づくり	◎年2回実施するQUアンケートで、学級満足度を70%以上、要支援群を5%以下	・全校で取り組んできたS-PDCAサイクルを繰り返し行い、「ふり返り」から得られた成果と課題を、次時や次年度、他教科につなげていくことで、児童の活動の広がりや深まり、主体性の高まりを目指す。							太田 康子(特活主任)
●健康・体づくり	○運動習慣の改善や定着化	○授業以外で運動やスポーツを行う時間が週間で140分以上の児童生徒80%以上	・運動教室やなわとび大会などを開催し、運動する機会を作るようにする。 ・各クラスにドッジボール、サッカーボール、長縄、ドッジビーを配布し、外遊びの環境を整える。							中島 一(体育主任)
	○望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	○「健康に食事は大切である」と考える児童92%以上 ○給食残食率3%以下	・給食委員会による、栄養黑板の記入と、給食に関する放送で食に関する興味・関心を高める。 ・全校児童に呼びかけ、「食育標語」に取り組み、望ましい食習慣と食への意識付けとする。 ・給食委員会「給食週間」の取り組みをし、食に対する意識の向上を図る。							久富 友季 古賀 順子 田中 和江 (給食担当)
	○安全に関する資質・能力の育成	○校内外における安全のために必要な事柄を理解している児童90%以上 ○毎月の確実な安全点検の実施と生徒指導協議会で情報交換及び研修 ○防犯ブザー所持率95%以上	・安全委員会の児童主体で校内外の安全課題を設定させ、全校児童への呼びかけや、アンケートを実施する。 ・事故の要因となる学校環境や児童の生活における行動の危険について点検と情報交換を毎月行う。 ・防犯ブザー点検を毎月行い、家庭に対して、防犯ブザー所持啓発に努める。							井上 彩(安全担当)
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守し、全職員の達成を目指す。	・月～木曜日は19時退勤、金曜日は17:30退勤を全職員で厳守する。1時間前に退庁時刻を知らせ、見通しをもって業務を進める。 ・全職員で働き方改革の意義を自覚し、個人での工夫と組織としての業務削減に努力をする。							夏秋総子(教頭)

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
★小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実 ○学力向上推進地域指定事業への取り組み	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開率100%／情報発信を年間3回 ○三校の全職員合同による研修会を実施する。 ○2年計画を見通した研究の方針を決定するため、外部講師を招聘した研修会を実施する。	・「鳥栖市教育の日」に授業を公開する。 ・小中一貫教育指導三部会のメンバー構成をし、各部署の責任者を中心に三校で共通した取り組みと各校の校内研究との調整を図る。							鶴田喜幸(主幹教諭)
○特別支援教育の充実	○インクルーシブ教育の実践充実	○「校内支援委員会」の適時開催と継続的対応について、年3回の確認を行う。 ○通常学級・支援学級双方からの交流推進を図るための授業等を全学級において年間3回実施する。 ○関係機関連携について、児童理解に加え特別支援学級担任の研修の機会と捉え、特別支援学級担任1人あたり年間3回の参加を目指す。 ○自立活動に実践例5例を加える。	・「校内支援委員会」の適時開催とその後の継続的対応を連携して行う。特別支援教育コーディネーターと生徒指導主任、教育相談主任との乗り回しを行い、確認する。 ・年度当初に交流学級における啓発を目的とした話(授業)を全クラスで実施し、年間を通じた交流活動を3回行う。 ・巡回相談やケース会議・移行支援会議を開催する際には、日時等を情報共有し特別支援学級担任等の参加を呼びかける。 ・日常の自立活動の実践事例の情報共有を進め、校内研での取り組みとも絡め、実践例の充実を図る。 ・嘱託委員会や民生委員会、まちづくり推進協議会等に積極的に参加し、学校行事について知らせると共に、可能な限り協力を依頼する。 ・PTAとの連携を密に図り、必要に応じて協力依頼をする。 ・学校行事の様子について、学校だよりや学校ホームページ等で知らせる。							桑原 誠(特支主任) 坂口 滋子(特支主任)
○地域社会との連携・協働	○行事再編に係る地域との連携強化	○学校行事への地域人材の積極的参加を推進、80%以上を目指す。 ○地域からの協力依頼へ90%以上応じる。 ○適切で確実な情報発信に努め、8割以上の肯定的評価を得る。	・嘱託委員会や民生委員会、まちづくり推進協議会等に積極的に参加し、学校行事について知らせると共に、可能な限り協力を依頼する。 ・PTAとの連携を密に図り、必要に応じて協力依頼をする。 ・学校行事の様子について、学校だよりや学校ホームページ等で知らせる。							今村 昇治(教頭)

●…県共通 ★…鳥栖市共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--